太宰府天満宮神幸行事【だざいふてんまんぐうじんこうぎょうじ】

開催場所	**太宰府市　宰府４丁目７番１号 太宰府天満宮**
開催日	**９月 21 日～９月 25 日**
指定	**福岡県指定無形文化財**

【芸能の概要】

太宰府天満宮神幸式は、1101（康和 3）年、大宰権帥大江匡房卿（おおえのまさふさきょう）により始められたもの。22 日は本殿から榎社までを氏子約 600 名で、23 日は逆の順路を氏子約 1000 名によって、御神輿（ごしんよ）や花車、御所車と供に行列が行われる。この祭りには道真公を偲び、御神慮を和め奉ると供に五穀豊穣を神明に感謝する意が込められている。

【芸能の特徴】

太宰府天満宮は、菅原道真公の御墓所の上に社殿を造営して、その神霊を御奉祀する神社である。秋祭神幸式大祭は平安時代、堀河天皇の 1101（康和 3）年に大宰権帥大江匡房卿により始められた祭事である。

1101（康和 3）年に始められてから、途絶える事無く行われている。

【使用する祭具・道具など】

神幸式では、雅楽と共に竹の曲が奏される。また、菅原道真公の御遺骸を牛車に乗せ進ませたことにちなみ、列には御所車が加わる。

・アクセス

西鉄太宰府駅より徒歩 5 分

・周辺の観光

宝満山、大宰府政庁跡、九州歴史資料館、岩屋城跡
鬼すべ（1 月）、曲水の宴（3 月）
太宰府市民まつり（8 月）
太宰府ふれあいフェスタ（11 月）

・近くの特産品

梅製品、梅ヶ枝餅、木うそ